

# Trimble M シリーズ Ver.1.08 アップデート概要

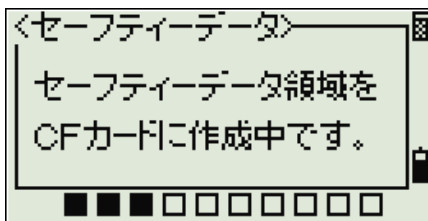
2008 年 12 月  
株式会社 ニコン・トリムブル

本書では、Trimble M シリーズ Ver.1.08 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## ■ セーフティーデータ出力先を変更

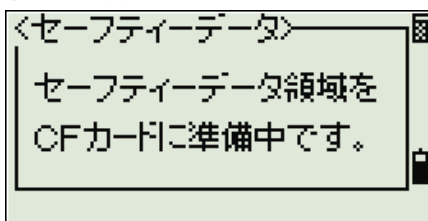
Trimble M5

- ◆本バージョンより本体にCFカードがセットされていれば、セーフティーデータをCFカードに出力するようになりました。  
対応プログラム：  
平面観測、平面観測(公共)、境界点間観測、横断観測、縦断観測、図根点観測、筆界点観測、突出点観測  
※CFカードがセットされていないときは、従来通り内部メモリに出力します。
- ◆電源投入前もしくは、上記プログラム起動前にCFカードを本体にセットして置いてください。  
※セーフティーデータをCFカードに出力しないときはCFカードを外しておいてください。
- ◆CFカード内にセーフティーデータ領域が無ければセーフティーデータ領域を作成します。



- ※セーフティーデータをCFカードに出力しないときはCFカードを外しておいてください。
- ※領域の作成には、約5.5分かかります。

- ◆システム起動もしくは上記の対応プログラム起動時にCFカードをチェックしてCFカードがセットされていれば下記画面を表示します。

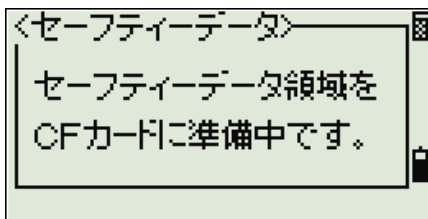


- ※以降、プログラムを終了するまでCFカードは抜かないでください。  
(CFカードを抜くとセーフティーデータは記録されません)

## ■ セーフティーデータ取り込み先を変更

Trimble M5

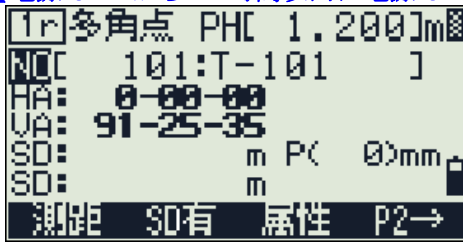
- ◆観測データ復旧を起動時、本体にCFカードがセットされていれば、CFカードからデータを復旧できるようになりました。  
※CFカードがセットされていないときは、従来通り内部メモリから復旧します。
- ◆観測データ復旧を起動時にCFカードをチェックしてCFカードがセットされていれば下記画面を表示します。



- ※以降、プログラムを終了するまでCFカードは抜かないでください。  
(CFカードを抜くとセーフティーデータは復旧されません)

◆本バージョンより、データ破損の予防処置として電源OFFから次の電源ONまで、24時間以上経過しているとシステムの再起動を行うようになりました。

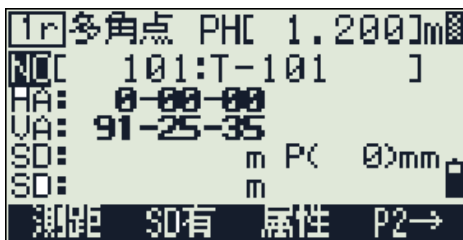
【電源 OFF から 24 時間以内に電源 ON】



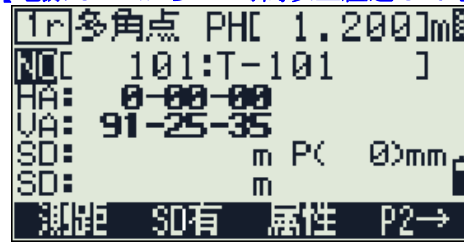
↓  
【電源 OFF】  
↓ (24 時間以内)  
【電源 ON】  
↓



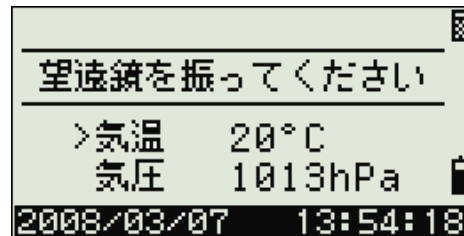
↓



【電源 OFF から 24 時間以上経過して電源 ON】



↓  
【電源 OFF】  
↓ (24 時間以上経過)  
【電源 ON】  
↓



↓



以上